

学校だより

重点目標 みんなでいっぽ

9月号

学校は「分かった」「できた」を積み重ねるところ

45日間の夏休みが終わりました。お子さんは、学校に通いながらではなかなかできない体験もできたことでしょう。夏休み前の、このおたよりで触れましたが、インターネットを使い過ぎないように、保護者の皆様との約束の上、利用するよう、努めていたでしょうか。

この期間、熊本県内で大きな地震が起きたり、各地で大水害が起きたりと大変な出来事もありました。インフルエンザの感染も報告され始めたとのことでした。

保護者の皆様は、いかがお過ごしでしたでしょうか。

いよいよ2学期がスタートするにあたり、保護者の皆様と共有したいことをお伝えします。

1点目は、子どもの喜びを受けとめることです。今年の学校の重点目標「みんなでいっぽ」を合言葉に、毎日の学校生活を大切に積み重ね、子どもたちと共に進んでいきます。

「今日、跳び箱の8段が跳べたんだよ」

「今日、私の名前にある漢字を習ったよ」

「今日、給食全部食べたよ」

教員はこのような子どもの喜びを受け取ることができ、幸せです。保護者の皆様もご家庭でぜひ、受け止めていただきたいと思います。知らなかったことを知ったり、できなかったことができるようになったりすることが、積み重ねです。学校は何かを知ったり、できるようになったりするところでありたいです。

2点目は、子どもの友人関係を見守ることです。学校は、地域の子どもたちが集まってきて社会を作っています。保護者の皆様、地域の皆様も一緒に社会を作っています。中央林間小学校は、どのような社会でありたいですか。数年後、数十年後、今の子どもたちがこの社会を作ることになります。どのような地域でありたいかは、一人一人の願いと行動に表れてくるのだと思います。そのように考えると、子どもたちに必要な力として、状況に応じて自分で考え判断し、行動するという「いっぽ」踏み出す強い力が必要になるはずです。子どもたちは、様々な友達同士の関わりから、心の揺れを克服し、関係を良くして、居心地の良いクラスにする方法を学んでいます。保護者の皆様、その様子を見守っててください。

(校長)



1学期末にもお知らせしましたが、学校へのご連絡は次の時間内をお願いします。

平日 8:30~17:00